

全国協議会 ニュース

2010年6月1日発行 第216号

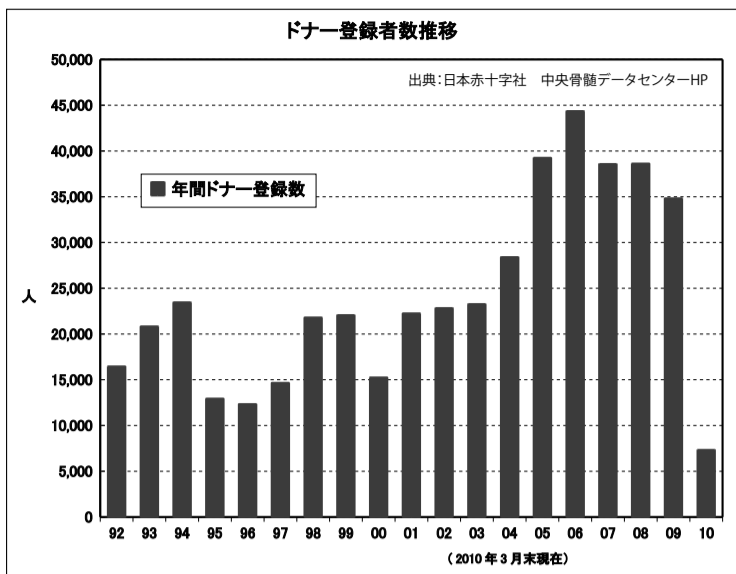
発行所 特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:中野勝博 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

ドナー登録者数の伸び鈍化 骨髓バンク事業見直しのチャンスか?

骨髓バンク事業の検証 その1

全国協議会は今年20周年を迎えますが、日本骨髓バンクの事業開始以降、ドナー登録呼びかけが私たちの活動の中で大きなウェイトを占めてきたことは、紛れも無い事実です。これまでのドナー登録数の推移を概観してみます。



グラフは、年間登録数が必ずしも順調に増加してきていたわけではないことを示しています。財団設立当初は、民間の骨髓バンクからの移管や、マスメディアによる積極的な報道もあって、2年連続の前年比増でした。その後の3年間はその反動のためか、初年度よりも落ち込んだ状態で推移しましたが、98年以降の6年間は、比較的安定して推移します。その安定期に大きく

は、テレビ画面や舞台等を通じて人気がある有名人の発症、闘病が、多くの人々に血液難病と骨髓バンクの存在を知らしめたことも忘れることはできません。06年をピークと

ゴールドジム・チャリティイベント 真の優しさが真の強さ

5月23日、「骨髓バンクチャリティ」ゴールドジム格闘技スクール発表会2010が開催されました。このイベントは、3年前から開催されており、入場料(募金)の全てが協議会に寄付されます。格闘技スクールといっても、空手・ボクシング・合気道・テコンドーの他、サンダ・チーゴンと言う中国武術まであり、凛々しくも可愛い7歳の空手少年からテレビで観ていたプロ選手まで、格闘家の皆さんが出演していました。



日頃の鍛錬の成果をリングサイドで拝見しましたが、中でも「エキシビジョンマッチ 天田ヒロミ(K-I JAPAN GP2004 優勝) × フアビアーノ・サイクロン」では、そのパンチ・キックの音や振動の迫力は凄まじいものでした。また、「宇野薫(元修斗ウェルター級王者) × 岡見勇信」の特別トークショーでは、世界最高峰のリング「UFC」での活躍の秘訣なども披露されました。

わが国でも法整備を! 造血細胞移植法制定を願う米国視察

5月1日から9日まで、当協議会の役員で、日本さい帯血バンクネットワーク監事も務める野村正満副会長他2名の同行者



ニューヨーク血液センターでルービンシュタイン博士と

と共に、造血細胞移植法制定に向けた情報収集のため、米国に出かけました。日本には法律も作られないまま、当時の厚生省からの通達一本で骨髓バンク事業が開始された経緯があります。諸外国から見れば、「法律もないままによく事業が進められている」と逆に驚かれています。造血細胞移植事業に携わる多くの関係者の努力の賜物ですが、「お金・システムの問題等、法整備をせぬまま事業を進めることはそ

ろる限界にきているのでは?」「まずは5年前に法律が整備された」と聞いている米国の状況を把握するため、関係者に直接話しを聞いて来よう!」それが今回の視察の発端でした。

大谷会長の実姉ホリマン睦子さんが、日本の厚生労働省の造血細胞移植審議会にあたる諮問協議会(アドバイザー・カウンシル)の委員をされており、5月5日にワシントンDCで開催されるその諮問協議会の年次会議に照準を合わせたスケジュールとなりました。

まずはお米国の在任の睦子さんを訪問し、米国における骨髓バンク・さい帯血バンクの状況、政府の関わり方等の背景を伺い、ワシントンに移動して、諮問協議会の会合を傍聴、翌6日には、東京大学医学研究所にいらした高橋恒夫先生の協力を得て、ニューヨーク血液センターのパブロ・ルービンシュタイン博士との意見交換、そして実際にさい帯血を調製保存しているセンター施設の見学。7日にはミネアポリスに移動し、全米骨髓バンク(NMDP)オフィスを訪問し、CEOのジェフリー・チェル氏を始め、メディアカル・オフィサーのデニス・カンファー氏らからNMDPの現状を伺いました。

詳細についてはこれからまとめることとなりますが、一つだけ、私にとって印象に残ったことを。

日本の審議会は、厚生労働省が決めた事業関係者や有識者によって構成されており、担当課が事務局としてお膳立てした形で進められますが、諮問協議会では所属、人種、性別を超え、患者家族やドナーも含まれる様々なメンバーで構成され、担当課としてメンバーとして席に座っていました。更に言えば、傍聴者も質問や発言ができるのです。組織の背景が異なるとはいえ、日本との大きな差を感じると共に、土地の広さだけで

「ハローキティうちわ」作製しました
3年ぶりのハローキティうちわです。今回は設立20周年ロゴ入り記念バージョンで、基調色は今流行のパープル。可愛いデザインがより一層引き立ちます。夏祭り、秋祭りでの普及啓発活動や募金活動にぜひご活用ください!
原則1箱単位(250枚)での申込みとなりますが、より少量など単位外での枚数を希望される場合は、事務局までご相談ください。



東京国際大学からマイレージの寄贈
4月23日 東京国際大学(田尻副学長・埼玉県川越市)よりデルタ航空スカイウィッシュプログラムの60万339マイルのマイレージをご寄付頂きました。贈呈式にはデルタ航空高橋雅治広報部長・JTB川越支店の皆様と共に当協議会野村正満副会長が訪問し、感謝状を贈り骨髓バンクへのより一層の

20周年事業協賛金 (4/21~5/20)

県エアネット	20,000円	瑞浪桔梗ライオンズクラブ	20,000円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	20,000円	小樽ロータリークラブ	20,000円
	20,000円	あけび書房(株)	20,000円
加須ライオンズクラブ	20,000円	赤沼 正清	9,000円
東京葛飾ライオンズクラブ	20,000円		(敬称略)

※在庫がなくなり次第終了です。お申込みはお早めに!

各地ののり 各たより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

静岡 富士スピードウェイでも 善意の登録!!

GW真っ只中の5月1日、2日に、富士山が目の前に広がる富士スピードウェイで、「2010 SUPER GT」【Round. 3】が開催され、2日にGTAさん主催の献血併行型登録会を実施致しました。スタンド内は、レーサーの巧みなハンドリングと、300km/hを越えるレーシングカーの爆音が轟き、観る者を釘付けにしました。



当日は天候にも恵まれ、レーサーファンをはじめ多くの来場者の熱気が、スタンド及びイベント広場に溢れていました。また、イベント広場ステージでは、司会者と財団広報担当者が骨髄バンクについてのミニシンポジウムで、骨髄バンクの説明を行いました。

登録会へは、午前中から多くの方にお越し頂き、ドナー登録者も33名に達しました。今回は予想以上の成果に結びつくことができ、多くの方の善意に深く感謝せずにはいられません。レースイベントでの登録会という事で当初はこのような結果は想像しておりませんでした。大きなイベント会場ゆえの

成果なんでしょうか、それとも関心度の高かったたのしみでしょうか、いずれにせよこんなにも多くの方々に登録いただいたことは大変喜ばしいことであつたと思ひます。今後も少しでも多くの方に骨髄バンクを知って頂き、そしてよい成果が得られるよう活動を進めていけたらと思ひます。次回、富士スピードウェイでの開催日【Round. 7】9月11、12日です。(古屋)

姫路 チャリティ映画会で 若い世代にアピール



5月16日、姫路市文化センターにて、姫路地区骨髄バンク推進センター主催の、骨髄バンクチャリティ映画会「それいけ!アンパンマン だんだんとふたごの星」を開催いたしました。当センターは毎年2、3回骨髄バンク広報・啓発活動として映画会を行っております。今回初めて子供向けの映画を選び、若いお父さん・お母さん達に骨髄バンクとはどういうものか、また血液センター姫路出張所の職員さんにもご協力いただき、献血の大切さを会場でお話していただきました。当日は、400名ほどのお客様(子供含め)に来ていただき、骨髄バンク・献血の資料を配布

することができました。これからも若い世代の方々に骨髄バンクを知っていただくためにがんばってまいります。(濱田)

元気ですが、ありがとうございますサクラ

北海道協会の記念植樹を行った札幌北極病院は、特に移植医療に力を入れている病院で、造血幹細胞移植の件数も多く、ドナーからの採取件数は全国でもトップクラスの実績があります。駐車場わきの前庭に植えたエゾヤマザクラは、今年はまだ花を咲かせるには至るまいと思つていました。しかし、十輪の蕾がつき、それが5月11日に開花したのを、毎日お世話をして



る同病院施設課の掛水和彦さんが気づき、さっそく写真を送ってくれました。今年も天候が不規則でもあり、予期せぬ開花でした。咲き終わった今は、青葉が盛んに茂り、来年が楽しみです。(加藤)

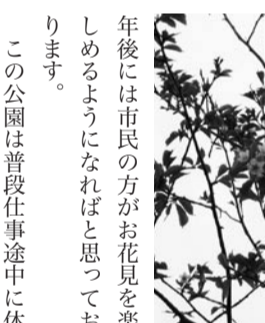
その日への大きな期待を感じます。今年、私たち釧路骨髄バンク推進協会も15年の節目を迎えます。全国協議会が設立20年を迎える今年、私たち釧路骨髄バンク推進協会も15年の節目を迎えます。少ない人数と限られた予算に言い難いものがありますが、釧路の地に「骨髄バンク」への想いが少しでも増え、この活動が15年間続けたら、この点は少しだけ胸を張つてもいいのではないかと、思っています。骨髄移植1万例、さい帯血移植5千例の感謝の想いをつなげた全国リレー植樹会。昨年植えた木々は毎年のように大きくなり、多くの桜の花を咲かせてくれることでしょうか。

釧路

函館

全国リレー植樹会、日本最東端の地として釧路市では昨年の5月9日釧路市役所前庭に蝦名釧路市長をはじめ市民の方に集まって頂き、エゾヤマザクラを植樹しました。あれから1年。今年は雪も多く、まだ幼いエゾヤマザクラにとって厳しい越冬だったかもしれませんが、しっかりと根を張り、元気に成長している姿には少しの安堵感と、開花を迎える

昨年全国記念植樹リレーにて函館市高松町の空港緑地高松西公園に30本植樹したエゾヤマザクラは、今年2本が花を咲かせていました。植樹の際に、今年の春には是非とも花を咲かせたいと、通常よりも少し大きな苗木を植樹しました。その後は例年に比べ厳冬、暴風となる日が多く、花が咲くか心配していましたが、どの苗木も昨年より成長しており、数



この公園は普段仕事途中に休憩の為、車で立ち寄りられる方が多く、公園入口正面には、大きな記念植樹の看板が設置してあり、ここを訪れる方に骨髄移植やさい帯血移植について理解されたいと、桜が成長する事を願つてやみません。(田中)

H LA帯広のメンバー勢ぞろいで桜を植えたのが、まさに一年前の今日、5月17日でした。残念ながら既に開花の時期は過ぎてしまひ、写真には桜の花がまったく写っていませんが、昨年と比べると、確実に細い枝が増えているようです。私たちが植樹を行ったのは、帯広市の「北愛国交流広場」という大きなさくらまつりが開かれる場所。多くの他の記念植樹に混じつて、「骨髄移植1万例・さい帯血移植5千例 ありがとうキャンペーン」の文字がかかれた一本がそうです。誰でもご覧いただけるので、こちらにいられた方がいましたら是非探してみてください。きつと見つかると思ひます。

桜の木としてはまだまだ華奢な一本ですが、これから少しずつ大きくなって、いずれはまつりを訪れる多くの人を楽しませ



大谷会長
走る

5月5日、NHKラジオの公開生放送「鎌田實 いのちの対話」に大谷会長がゲスト出演しました。当日の放送をお聞きになった一般のみならず、早速、感想や講演依頼の連絡が全国協議会事務局にもありました。その中の感想をご紹介します。



5月5日、NHKラジオ、いのちの対話で大谷貴子さんのお話を聞きました。奇跡的に、お母様とH LAは適合したけれど、その時の体調がとて悪くて、骨髄移植の成

成功率は1%。1%しかないのではなく、1%もあると、考え、希望を持つて移植をうけ、元気になられた大谷貴子さんは、私たち患者仲間の憧れです。大谷さんの希望が、骨髄バンクを立ち上げ、今はたくさんの方にいのちの続きをプレゼントし続けています。私は、白血病と告知され、骨髄移植で治療ができるけれど、移植後の生存率は40%と言われて40%しかないと思ひ、恐怖の日々を過ごしました。あの時の気持ちでは、40%もあるとはとても思えませんでした。『もある』『しかない』。同じ内容でも、考え次第で希望を持ち生きていけるのだと思ひました。(ミルキー)

骨髄バンク NOW
（財団マンスリーJMDP (5月14日発行)より抜粋）
●ゴールデンウィーク中のドナー登録会
今年のゴールデンウィークも日本各地の様々な会場でドナー登録会が開催されました。今年も期間中好天が続き、毎年開催される「幕張メッセ「どきどき」フリーマーケット(千葉県千葉市)」や「KHBフリーマーケット(宮城県仙台市)」等をはじめとするイベント会場や、ショッピングセンタージャスコの各店舗、大学のキャンパス等で、多くの方がドナー登録をされました。
●SUPER GTの骨髄バンク支援
国内開催の自動車レースとしては最大の観客動員数を誇る「SUPER GT 2010シリーズ」で骨髄バンクの支援活動が行なわれています。SUPER GTに参戦しているドライバーの1人、アンドレ・クート選手のお子さんが、アフォンソ君が急性リンパ性白血病を発症したことがきっかけでした。鈴鹿サーキットで開幕した第1戦、岡山国際サーキットでの第2戦で骨髄バンクのPRが行われました。ゴールデンウィーク中の5月1日・2日に行われた第3戦では、啓発活動の他、トークショーやチャリティオークションが開催され、2日には献血とドナー登録会が行われました。SUPER GTでは、今後も骨髄バンク支援活動を続けられる予定です。現在も闘病中のアフォンソ君ですが、ドイツの骨髄バンクを通じてドナーが見つかり、近々移植が予定されています。治療の成功を心よりお祈りしています。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

◆日本骨髄バンクの現状(平成22年4月末現在)			
	3月	4月	現在数
ドナー登録者数	2,282	2,898	359,256
患者登録者数	246	238	2,619
骨髄移植例数	128	91	—
20歳未満ドナー登録者	—	340	12,177 ^{*1}
51歳以上ドナー	264 ^{*2}	80 ^{*3}	18,429 ^{*4}

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～

■4月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/822人、献血併行型集団登録会/1,911人、集団登録会/107人、その他/58人

心からのご寄付に 感謝申し上げます

4月21日～5月20日

(株)タクトコーポレーション	現金	10,000円
美濃加茂青年会議所	現金	300,000円
高松西ラインズクラブ	現金	300,000円
熊本骨髄バンク支援会	現金	41,237円
KAZO鯉つながりの会	現金	20,000円
自衛隊病院	現金	20,000円
東ちづる	現金	20,000円
赤沼 正清	現金	1,000円
山田 康博	現金	9,880円
前田 スミ子	現金	1,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
飯島 孝枝	現金	2,240円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
二華会 東京支部	現金	14,560円
姫路市中央病院	現金	9,473円
八家ゴルフセンター	現金	6,282円
(株)東洋彫刻製作所	現金	12,938円
(医)大庚会 今整形外科	現金	7,171円
(株)中華菜館 中華園	現金	9,326円
●佐藤きち子患者支援基金		
坂井 美香	現金	5,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会